

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成30年 9月28日)

事業コード	H30-建-継-14		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(雪寒)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	凍雪害防止事業(堆雪幅の確保)		班 名	調整・企画管理班 (tel)018-860-2488
路線名等	国道105号		担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	仙北市上松木内		担当者名	副主幹(兼)班長 柳沢 悟
プランとの関連	政策コード	04	政 策 名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備
	指標コード	04	施策目標(指標)名	日々の暮らしを支える生活道路の機能強化

1. 事業の概要

事業期間	H24～ H33(10年)	総事業費	11.3億円	国庫補助率	0.710	
事業規模	○延長L=1,600m 幅員W=5.5(9.5)m (2.0-5.5-2.0)					
事業の立案に至る背景	<p>国道105号は、由利本荘市を起点とし仙北市を経由し北秋田市に至る主要幹線道路である。県北地域と県南地域を結ぶ南北軸となる路線であるほか、第2次緊急輸送道路にも指定されており、物流及び観光の面から重要な機能を有している。しかし、当該区間は幅員狭隘のうえ、曲線半径も規定値を満たさない箇所が多くあるほか、冬期交通の定時性・安全性も損なわれている。</p> <p>国道に平行する松木内川の河川改良事業が着手しており、河川事業と工程を合わせることでより効率的な事業効果を得られることが期待できるため、早期に整備を実施する必要がある。</p>					
事業目的	<p>○幹線道路における車両のすれ違いおよび大型車の走行困難箇所の解消</p> <p>○冬期における安全で定時性が確保された雪に強い道路づくり</p>					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事 業 費 内 訳	費	660,000	1,129,000	469,000	切土区間の土質の変更による掘削等の増 NHK共聴線の補償等による増 橋台拡幅部の杭基礎設計等による増
		工 事 費	569,000	895,000	326,000	
		用 補 費	60,000	116,000	56,000	
	財 源 内 訳	そ の 他	31,000	118,000	87,000	
		国庫補助	475,200	801,500	326,300	
		県 債	166,300	294,700	128,400	
そ の 他						
事 業 内 容	一 般 財 源	18,500	32,800	14,300		
	調 査 ・ 設 計 改 良 工 舗 装 工 橋 梁 工		調 査 ・ 設 計 改 良 工 舗 装 工 橋 梁 工		国庫補助率の変更による	
事業の進捗状況	<p>○平成30年度末での事業進捗率見込み約62%</p> <p>○平成30年度末時点でL=130m供用予定 (平成29年度までL=680m供用済み、橋梁N=2橋拡幅済み)</p>					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	○一級河川松木内川県単河川改良事業(宮田工区)(H20～H32)					
情勢の変化及び長期継続の理由	特になし					
事業効果把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率				
	指 標 式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目 標 値 a	94.1%		データ等の出典	道路課調べ	
	実 績 値 b	93.8%		把握の時期	平成30年4月	
達成率 b/a	99.6%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○曲線半径規定値(R=100m以上)を満たさない箇所が7カ所もあり、視距が十分に確保されていないことから、大型車の走行に支障をきたしている。 ○冬期の旅行速度が25km/h低下することから交通の定時性を確保する必要がある。(夏期57km/h)	10点
緊 急 性	○一級河川桧木内川の河川改良事業が着手しており、連携して道路改良事業を実施することで、効率的な事業効果を発揮できる。 ○事業実施により第二次緊急輸送道路としての機能強化が図られる。	15点
有 効 性	○当該区域から仙北市の第2次救急医療施設にアクセスする道路として位置づけられる。 ○秋田内陸縦貫鉄道に平行しており（最寄駅：上桧木内駅）、鉄道運休時の旅客輸送に対応できる。 ○沿線には田沢湖・抱返り県立自然公園、森吉山県立自然公園を擁することから、四季を通じた観光路線としての機能を有している。	25点
効 率 性	○可能な限り「現道拡幅による道路改良」として事業実施するため、「バイパス化による道路改良」と比較してもコスト縮減が図られる。 ○また、桧木内川に隣接した区間においては、河川事業との工程調整により効率的な工事進捗が図られる。	10点
熟 度	○大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会から整備に関する要望書が提出されている。	21点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) _____	81点
総 合 評 価	<input type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 _____	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

4. 公共事業評価専門委員会意見

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 凍雪害防止事業 (堆雪帯)

事業コード (H30-建-継-14)
箇所名 (仙北市上桧木内)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性					
	県民ニーズ		一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5	5	・雪対策へのニーズ (道路除雪等)
			一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3		
			一般県民を対象とした調査を行っていない	0		
	社会情勢変化による需要変化		増大している	5	5	・当該区間を走行する大型車率の増大
特に変化はない			3			
低下している			0			
計			10	10		
緊急性	緊急輸送道路又は緊急確保路線					
	緊急輸送道路又は緊急確保路線		指定路線である	5	5	・第2次緊急輸送道路
			指定路線を補完する	3		
			指定路線と関連がない	0		
	事業未実施の影響		周辺への影響等が大きい	5	5	・周辺への影響が大きい
			周辺への影響等が小さい	0		
他事業との関連		関連事業との調整で緊急性が高い	5	5	・緊急性が高い	
		関連事業との調整で緊急性が低い	0			
計			15	15		
有効性	期待される具体的効果					
	救急医療施設へのアクセス		直接アクセスする	5	5	・角館総合病院
			間接的に補完する	3		
			アクセスへの貢献は小さい	1		
	高速 I C、空港、港湾等へのアクセス		直接アクセスする	5	5	・大館能代空港
			間接的に補完する	3		
			アクセスへの貢献は小さい	1		
	冬期観光施設へのアクセス		直接アクセスする	5	5	・森吉山・紙風船館
			間接的に補完する	3		
			アクセスへの貢献は小さい	1		
	積雪時の交通安全性		地域の冬期交通円滑化、安全性向上	5	5	・円滑化、安全性向上
			安全性はさほど向上しない	0		
	物流拠点へのアクセス		直接アクセスする	5	5	・大曲駅、角館駅
間接的に補完する			3			
アクセスへの貢献は小さい			1			
市町村合併関連		市町村合併の推進に貢献する	5	0	・影響しない	
		市町村合併の推進には特に影響しない	0			
計			30	25		
効率性	事業実施コストの削減					
	該当項目数		3項目以上	5	0	
			2項目	3		
			なし又は1項目	0		
	当初計画事業費との比較		減少又は10%未満の増加	5	0	
			10%以上30%未満の増加	3		
			30%以上の増加	0		
	交通量		1,000台/日以上	10	10	・1,071台/日
500台/日以上～1,000台/日未満			7			
300台/日以上～500台/日未満			4			
300台/日未満			0			
計			20	10		
熟度	事業の推進					
	地元の協力体制		事業に協力的で要望書等が提出されている	5	5	・大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会
			事業に協力的であるが要望書等は未提出	3		
			要望書が未提出で用地の反対がある	0		
	関係機関との協議・調整		基本事項が合意済み	5	5	・合意済み
			協議中であるが特に問題はない	3		
			未協議	0		
	事業の進捗状況					
	進捗率		計画より進捗している	5	1	・事業進捗の遅れ
			概ね進捗 (90～100%未満)	3		
			計画より遅れている (90%未満)	1		
今後の進捗見込み		課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5	・課題解決済み	
		将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない	3			
		課題解決の見込みがなく事業が停滞する	0			
環境との調和						
環境保全への配慮		十分に配慮されている	5	5	・植生等に配慮	
		配慮が不十分で、検討している	3			
		特に配慮はない	0			
計			25	21		
合計				100	81	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上		
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		